

詳細ニ調査セル資料ナク各會社ニ之ヲ秘密ニ附シ居ルヲ以テ不明ナリ

福州

船舶業者ニシテ收入皆無者数及收入減少其他損害状況

會社別	月別	前月	九月中	十月中	十一月中	摘要
大政商船會社	輸出	三五〇〇	一五〇〇	一四〇〇	五二七	十月輸入増加ハ將未日本船ノ使用不能ヲ見越シテ一時多量ノ輸入ヲ爲シ
平和洋行	輸入	二八〇〇	二八〇〇	三五七〇	二〇七	
(台灣籍民)	輸出	六〇〇	八九二五	五四六二		

厦門

船舶業者ニシテ收入皆無者数及收入減少其他損害状況

廣東

船舶所有者ニシテ收入皆無者数及收入減少其他損害状況

社名	平常月收	減少歩合	解約被害
日本郵船	七〇〇〇	三〇パーセント	三〇、〇〇〇
大阪商船	二〇〇〇	九〇	
日清汽船	二〇〇〇	九五	
南洋倉庫	三五〇〇	八〇	

備考支那人ノ顧客絶無トナリタルニ依ル

S. 1.1.1.0 - 64

108 1329

0177

S. 1.1.1.0 - 64

1328 107

0176

107

45

被害状況	被害件数		被害人数	
	組界内	支那界	男	女
殴打シ且ツ投石サレタルモノ	一	一	一	一
投石サレタルモノ	一八	三	二〇	一
殴打サレタルモノ	一一	三	一六	一
抗日會員ノ退店ヲ脅迫ニ依リ使用支那人四能業ノシテ管業林止	三三	二二	六六	一
氷塊ヲ投ケツケラレ負傷セラルモノ	一	一	一	一
投石レ且ツ唾ヲ吐キ掛ケラレシモノ	一	一	一	一
抗日會員ニ商品ヲ強奪サレタルモノ	一	一	一	一
郵便局ニ小包送ヲ拒絶セラルモノ	一	一	一	一
運搬中抗日會員ニ商品ヲ差押シラレシモノ	六	四	一〇	一
多数ノ無賴漢、苦力等ニ暴行ヲ受ケ負傷セシモノ	一	一	一	一
人力車ヨリ下車ヲ強制サレシモノ	一	一	一	一
群衆ヨリ投石又ハ唾ヲ吐キ掛ケラレ負傷シタルモノ	一	一	一	一

上海
 一ヶ月間ノ状況
 一、時局發生ノ九月十九日ヨリ十月十八日ニ至ル
 二、在留邦人ノ受ケタル暴行脅迫其他ノ
 数及ヒ其ノ状況
 概要 (昭和六年七月排日勅令以降十二月迄判明ノ分)
 一、暴行脅迫 一七〇四
 二、殺 六
 三、爆彈投擲 四
 四、放火 三

S. 1.1.1.0 - 64 1331 0179 1110

S. 1.1.1.0 - 64 1330 0178 109

被害状況	被害件数	被害男	被害女	被害計
突キ飛ハサレ後頭部ヲ打ケタルモノ	一	一	一	一
鉛筆ニテ耳ヲ突カレタルモノ	一	一	一	一
突倒サレタルモノ	二	三	一	三
棍棒ニテ改ラレ下頸部負傷セシモノ	一	一	一	一
鉄棒ニテ後頭部ヲ刺ラレ左胸部肋骨ヲ折ラレタルモノ	一	一	二	三
支那人ト取引契約後ニ抗日会員ニ妨害サレタルモノ	一	一	一	一
出刃庖丁ヲ揮ヒ追掛ケラレシモノ	一	一	一	一
抗日会員等ニ停留所以外ノ場所ニ於テ電車ヨリ引下サレタルモノ	一	一	一	一
群衆ヨリ侮辱サレタルモノ	二	二	一	三
日本人ヲ殺スト電話ヲシテ脅迫サレシモノ	一	一	一	一
排日ボスタヲ刺キタルコトヨリ支那人多数ヨリ改打サレ負傷サレタルモノ	四	五	一	五
多数ノ支那人ニ改打サレタルモノ	一	一	一	二
被 害 状 況	組界内支那界	男	女	計
日本ヨリ發送セル價格表取不着ノモノ	六	六	一	六
支那軍人ニ土足ニテ二階ニ押サレシモノ	一	一	一	一
群衆ヨリ突然改打サレシモノ	一	一	一	一
日本行シ卸便ヲ上巻ニ配達セシモノ	一	一	一	一
数千人抗日暴徒ニ日本工場(内外棉工場)及社宅ヲ襲撃サレシモノ	二	一六	一	一六
右事件ニテ附近停留中ノ自用自動車ヲ破壊サレシモノ	一	一	一	一
全家屋窓硝子ヲ破壊サレシモノ	二	二	一	三
公安局巡警カ管轄ヲ妨害セシモノ	一	一	一	一
投石サレ窓硝子ヲ破ラレタルモノ	二	二	一	三
電車バスニ乗車ヲ拒絶サレタルモノ	一	一	一	一
多数ノ車夫無賴漢ニ改打サレ且ツ銀三百円ヲ強奪サレタルモノ	一	一	一	一

S. 1.1.1.0 - 64 112 1333 0181

S. 1.1.1.0 - 64 1332 0111 0180 ///

被害状況	被害件数		被害人数	
	租界内	支那界	男	女
被 害 状 況				
抗日會負ニ商品ヲ強奪サレタルモノ	一	一	一	一
住宅ニ投石サレシモノ	一	一	一	一
使用支那人ニ對シ遺物ヲ強奪サレタルモノ	二	一	三	五
住宅ノ壁ニ排日文ヲ墨書サレタルモノ	一	一	一	一
工人ヨリ解雇手當ヲ強要サレタルモノ	一	一	一	一
投石サレ負傷シタルモノ	三	一	四	一
暴行ヲ受ケ所持品ヲ強奪サレシモノ	一	一	一	一
被 害 状 況				
瓦斯設備工事ヲ故意ニ遅延サレシモノ	一	一	一	三
空氣銃ニテ住宅ニ故意ニ射撃セタルモノ	一	一	一	三
郵便物配達ヲ故意ニ遅延サレタルモノ	二	一	二	二
喧嘩ヲ吹キガケラレシモノ	二	一	二	二
通行中突然棍棒ヲ頭部ヲ殴打セシモノ	一	一	一	一
支那人家主ヨリ突然立退キ強要セラルモノ	二	一	二	二
殴打サレシモノ	四	一	三	四
支那人ヨリ商品ヲ強奪サレシモノ	二	一	二	二
住宅ニ投石窓硝子ヲ破壊サレタルモノ	四	一	四	四
不當ノ家賃ヲ請求サレタルモノ	一	一	一	一
使用支那人ニ對シ抗日會ノ不法呼出レテ受ケタルモノ	一	一	一	一

(一) 十月十九日ヨリ十一月十八日ニ至ル一ヶ月間ノ状況

合計	租界内	支那界	男	女
日本人馬鹿又ハ強盜ト罵詈雑言サレタルモノ	二〇	三〇	二五	四〇
合計	一三一	六七	二三九	四八
				三八七

S. 1.1.10 -64 0183
114 1335

S. 1.1.10 -64 1334 0182
113

被害状況	被害件数		被害人数	
	男	女	男	女
内地ヨリ発信セル郵便物ヲ配達サレタル	一	一	一	一
電車内ニテ暴行サレタルモノ	一	一	一	一
抗日会ヨリ女工ノ部ニ罷工ヲ強制セラル	一	一	一	一
日英人喧嘩際シ支那巡捕ヨリ傷害セラル	一	一	一	一
群衆ヨリ暴行サレタルモノ	四	一	三	一
支那軍人ノタン兵營ニ連行サレシモノ	一	一	一	一
支那人群衆カ日本陸戦隊ニ襲撃セラル	一	一	一	一
支那軍人ノタン兵營ニ連行サレシモノ	一	一	一	一
住宅ヲ射撃サレテ硝子窓ヲ破壊サレタルモノ	一	一	一	一
自動車タイヤヲ故意ニ突破リ且ツ機械ヲ破壊サレシモノ	一	一	一	一
支那巡警ノタン我々義勇隊員カ銃器ヲ強奪サレシモノ	一	一	一	一
悪罵、侮辱サレタルモノ	一	一	一	一
暴漢ノタン人カ車ヨリ引下ロサレシモノ	一	一	一	一
通行中暴行サレシモノ	一	一	一	一
暴行ヲ受ケ所持品ヲ破壊サレシモノ	一	一	一	一
着用ノ衣服ヲ斬ラレタルモノ	一	一	一	一
抗日會員ノタン商品ヲ押ハラシモノ	一	一	一	一
學生ノ團ノタン住宅ニ排日文書カケル	一	一	一	一
通行中故意ニ突キ當ラレシモノ	一	一	一	一
通行中悪罵サレ且ツ投石サレシモノ	一	一	一	一
通行中暴行サレ負傷シタルモノ	一	一	一	一
車夫ヨリ暴行サレシモノ	一	一	一	一
日支經濟絶交ヲ理由トシテ正金ノ小切手ニテ支拂ヲ拒マレタルモノ	一	一	一	一
上海總領事駐在處ニ稽查員ヨリ商品ヲ抑留サレタルモノ	一	一	一	一

S. 1.1.1.0 - 64

116

1337

0185

S. 1.1.1.0 - 64

1336

0184

115

被害状況	被害者		計
	男	女	
殴打サレタルモノ	一九一	七二	一六三
投石サレタルモノ	五六	三四	九〇
唾ヲ吐キ掛ケラレシモノ	一六	八	二四
所持品ヲ奪取サレシタルモノ	五	六	一一
暴行ヲ加ヘラレシト追ハレタルモノ	二	八	一〇
所持品ヲ奪取セラレタルモノ	六	二	八
馬鹿ナド、侮辱サレタルモノ	七一	五一	一二二
交通ヲ妨害サレタルモノ	三	一	四
電車又ハバスヨリ下車ヲ強要サレシモノ	一	一	二
靴ニテ蹴ラレタルモノ	四	二	六
突キ飛ハサレ小刀ヲ威嚇サレシモノ	一	一	二

S. 1.1.1.0 - 64 118 1339

0187

被害件数 (自九月十九日 至十月十八日)

(三) 邦人學校生徒ノ通學途中ニ於ケル

更ニ通學児童ニ對スル暴行事件ハ別表ニ示ス如シ
 右ノ外支那人交換手ノタメ故意ニ電話ノ接續ヲ遲延
 シ又ハ通話中接續ヲ絶タレ通話不能ナラシメタル如キ
 小事故件数ハ多数ニ上ルモ一々届出ナキヲ以テ計數
 不明ナリ

累計	合計	
	自九月十九日 至十月十八日	計
二五〇	一三一	一八九
九八	六七	三一
三四八	一九八	一五〇
四一〇	二三九	一七一
九四	四八	四六
五〇四	二八七	二一七

S. 1.1.1.0 - 64 117 1338

0186

内 譯	自九月十九日	自九月十九日	合 計	突 然 横 腹 ヲ 突 カ レ タ ル モ ノ	突 飛 ハ サ レ 負 傷 シ タ ル モ ノ
	至十月十八日	至十月十八日			
	一〇〇	二五八	三五八	一	一
	五三	一三六	一八九	一	一
	一五三	三九四	五四七	一	一

(c) 右被害學生ノ所属學校ハ上海北部小學校、
 東部小學校、西部小學校、上海日本人高等女學校、全
 商業學校ノ生徒ニシテ内北中部最モ多シ
 (d) 生徒通學途中ノ保護ハ租界内ヨリ通學スルモ
 工部局警察官、日本陸戰隊員ニ於テ租界外支那
 街ヨリ通學スルモノハ領事館警察官、在郷軍人會

町内會員等協力其ノ任ニ當ル外租界内外共生
 徒ノ父兄ヲ附忝ハシメ安全ヲ期シ居ルモ其ノ隙ニ乘
 ジ本表ノ如キ事故發生スルノ状態ナリ

四 福州

在留邦人ノ受ケタル暴行脅迫教及其狀況

月	日	狀	況
九月	二十一日	午前十時頃城内古樓前ニ於テ宣傳ホスター 現物中ノ函報介紹主任台湾人黃清江ハ反日 會員數名ノタメノ襲撃セラレ治療一週間余ノ 打撲傷ヲ受ケタリ	
九月	二十三日	天田盛三郎(雜貨商)中曾根函報館長	

S. 1.1.1.0 - 64 1341 0189 120

S. 1.1.1.0 - 64 1340 0188 119 113

<p>中山領事館警察署長等ノ邦人宅ニ電報ヲ以テ「放火スベシ」「殺スベシ」「速ニ日本ニ帰レ」馬鹿野郎「打倒日本ギヤン」等ノ脅迫ヲナスモノアリ引續キ今日ニ至ルモ夜間等何回トナク電諾脅迫ヲナシツ、アリ</p>	<p>九月三十日 片山エツ産婆方ニ放火シタルモノアリ直ニ發見大事ニ至ラズ道路(巾五尺位ノ路)ヲ距テタル三一學校生徒ノ仕業ナル可シ(反日學生) 協和大學生百五十名排日示威行列ノ際大阪商船社宅前ニ到リ排日スローガニヲ高唱シ投石シタリ</p>	<p>十月十三日 教名ノ及日會負名灣人果物小賣店頭ニテ暴行店頭ヲ破壊ス</p>	<p>十月十五日 大阪商船支店長山下正樹使用人(支那人)が購入シタル山下ノ食品ヲ及日會負教名が走狗ナリト稱シニ回ニ涉リ投棄シ山下宅ヲ辭セシメタリ</p>	<p>十月三十日 電氣公司被備ノ台湾人二人(農業技手)ハ及日會ヨリ電氣公司ニ日人使用禁止ヲ強要シタルヲ解雇セラル</p>	<p>十月二日 福達公司(フォード自動車會社支社ト稱ス)ニ使用サル、二名ノ台湾人ハ亡國奴ト惡罵サルヲ受打サレタリ(同社職工支那人ハタメ)</p>
---	--	---	--	--	--

S. 1.1.1.0 - 64 1343... 0191 122

S. 1.1.1.0 - 64 1342 0190 121

十月十日	台湾人林集閩西汽車公司ヲ解雇サル
十月十五日	台湾人海産物商ニ塩魚販賣禁止ヲ命シ肯セザレバ刺殺スベシト脅迫
十月十九日	通行中ノ日本婦人ニ對シ支那中學生投石ニ負傷ナシ
十月二十三日	總領事館民會公會閩報館博愛醫院等ニ對シ爆彈ヲ投ズル旨ノ脅迫投書總領事館ニ来ル
十月二十七日	午後六時三十分頃日本人俱樂部(民會)ニ爆彈ヲ投ジタルモノアリ同時刻ト思ハル頃閩報館ニ放火シタルモノ導火物ノニ燃焼シテ自然鎮火シ大事ニ至ラス

(イ) 厦門

在留邦人ノ受ケタル暴行脅迫及及其狀況
 十月十八日午後七時半頃鼓浪嶼ノ日本領事館裏手及同時刻日本領事館警察署厦門分署裏手ニ爆彈ヲ投ジタル事件アリタリ右ハ反日團ノ所為ナラニト目セラレツ、アルモノ未ダ犯人檢挙サルニ至ラス其
 他特記スベキ事項ナシ

(ロ) 廣東

在留邦人ノ受ケタル暴行脅迫及及其狀況

S. 1.1.1.0 - 64 1345 124

0193

S. 1.1.1.0 - 64 1344 123 0192

暴行九件 脅迫三〇件
内譯「暴行九件ノ内容ハ投石四、毆打ニ小ウキンドウ
破壊一

襲撃ニシテ投石毆打ハ背景アル子供ノ悪戯ト認ムル
程度ノモノニシテ小ウキンドウ破壊ハ支那街ニアル日
本書店(邦商)ノモノニシテ實害ナク弗位アリ
襲撃ハ不在者宅ニテ被害ナク只其ノ内一件ハ廣州
灣(鄉村)縁関ニ奉職ノ日人ヲ襲撃追跡セルモノニ
シテ該税関吏ハ外人ノ庇護ニ依リ近キ香港(逃)
タルモノナリ
「脅迫」三〇件ハ方法トシテ電話書面又ハ直接派
人口頭ヲ以テシ其ノ内容ハ

- (四) 日本へ直グ引揚ゲ口、然ラガレバ危イゾ
 - (五) 支那人ノ使用人が居ルカ退店セ日人倭奴ノ走狗ニナルナ何時追モ居ルト危イゾ
 - (C) 爆彈ヲ投ゲルゾ
 - (α) 殺傷スルゾ
 - (七) 日本鬼カ(又ハ日本仔)毆ルゾ打ツゾ
- 等々ノ言質ニシテ悪口罵言ヲ以テ架電ニ來ルモノ多数アリ支那人使用人ニ對シテハ直接口頭ヲ以テナス者多カリキト云フ
而シテ其ノ経過トシテハ九月末ヨリ十月中旬頃迄ハ最ニ盛ニ行ハレ其ノ後ハ減少セリ

S. 1.1.1.0 - 64 126

1347

0195

S. 1.1.1.0 - 64

1346
125

0194

125

(ホ) 汕頭

在留邦人ノ受ケタル暴行ノ脅迫數及其ノ狀況

月日	暴行投石	差日押貨	其他	摘要
九月二十一日	一			橋ノ子供外三名小學校ヨリ帰途中旧司令部前ニ於テ華人少年同志軍ノ為メ四名内三名暴行セラル實害ナレ
九月二十二日	一			権満成ノ子供一登校ノ途中横山理髮店前ニ於テ華人小學生ヨリ暴行セラル實害ナレ
九月二十七日			一	裕泰洋行ヨリ華人ニ賣却シタル硫酸四十箱運搬途中第四公安局ニ差押ハラル華人ハ罰金拾元ヲ約メ荷物ヲ引取りタリ
九月二十八日	一			夜東優園ニ外部ヨリ投石シタルモノアリ実害ナレ妙中利三郎ハ聯和里通行中華人家屋ニ階ヨリ湯ヲカケラル實ナレ
九月二十九日	一			英華書院學生約二十名内一名東優園ニ投石シ硝子一枚破壊セラレタリ
九月三十日	一	一	一	崎嶇基督教堂附屬小學校生徒約二十名内四五名東瀛學校果門外ヨリ門内ニ投石シテ全校生徒福島巡査ニ投石セムトシテ中止幸改洋行ヨリ華人ニ賣却シタル日貨金網約百疋ノモノ運搬途中第二區公安局員ニ差押ヘラル
十月二日				幸改洋行臨時雇華人カ全行ヨリ帝國郵便船ニ送ルベキ食料品ヲ運搬シテ駈逐船ホートニ積込ニ歸行ノ途中第七區公安局ニ拘留セラレ保証人ヲ立テ解放
十月六日	三			學生聯合会巡行ノ際後列ノ二學生博愛醫院内ニ投石実害ナレ東優園ノ婦人四名留館ヨリ帰途旧司令部前ニテ學生數名ヨリ投石セラル実害ナレ東優園ニ投石セラレ窓硝子一枚破壊セラレ
十月七日	三			二十四才位ノ二名ノ華人博愛醫院東空地ヨリ投石シテ全院手新室ノ窓硝子ヲ破壊セリ夜間東優園ハ隣接セル抗日會事務所ヨリ數回投石セリ旧司令部附近ニテ某邦人ニ活ニ投石シタルモノアリ

S. 1.1.1.0 - 64

1349

0197

128

S. 1.1.1.0 - 64

1348

0196

127

127

計	二十八日	二十六日	十月三十一日	月日	二十日	二十日	十八日	十五日	十日	九日	十月八日
二				暴行							
一四			二	投石				一	一		一
五	一			日貸						一	
七				其他							
合計 二十八件	幸政洋行ヨリ駆逐艦へ送ルキ「三」ル 四打ヲ運送中第五区公安局送致第 七二番ニ差押ハラレ同店ホ「イ」共ニ該 分局ニ同行セラル同局ニ交渉上取扱ス	小學校教員家族ノ引揚荷物運搬 中市政府附近ニテ抗日會員運搬 カヲ脅迫シタルタメ苦力逃走止ム 船入ニヨリ運搬ヲ了ス	王巡查自乗車ニテ市内巡視ニ出掛ケタ ル途中外馬路皮藏前ニテ投石ガル突 害ナシ博愛醫院院長田辺博同 院ニテ嶺東商業學校生徒ヨリ投石 セラル突害ナシ	捕 要	省館送信者郵便局へ往路中抗日會員 ニ於テ全會員ニ呼止メラレ會同行 書信箱ヲ検査シ上今後毎日検査実施 スベト旨ヲ告ケテ釈放セリ	二名ノ武装巡警領事館正門前ニ来リ 出入邦人ノ身体検査ヲ行フ	二名ノ華人領事館正門外ヨリ本館建 物ニ投石シ硝子一枚破壊セラル被疑者一名 取押へ第五公安局巡警ニ引渡ス	名華人合和鉄工所職員刈益ノ住宅 ニ数名ノ中學生投石セリ突害ナシ	東便園ニ投石シタルモノアリ窓硝子一枚 破壊セラル	幸政洋行常備車人々馬鈴薯約百斤 購入先ヨリ本店へ運搬中第五公安局 巡警ニ差押ラレテ交渉上取扱ス	

S. 1.1.1.0 - 64

1351

0199

130

S. 1.1.1.0 - 64

1350

0198

129

129

香港
在留邦人ノ受ケタル暴行脅迫数及其状況

月日	暴行	侮辱	投石	破壊	状況
九月二十三日	一五	一	多数	一	小学校児童四名ハ支那人数名ニ暴行ヲ受ケ邦人婦人ハ侮辱又ハ投石セラレ夜ニ至リ支那人暴民ノ多衆ハジヨンストニ路ニ向ヒ投倒シ邦人商店ニ煉瓦小石ヲ投シ軒並ニシヨウウイニ窓カラスヲ破壊ス損害約一ヶ串
九月二十四日		一	多数		日本人小学校国旗ヲ卸シ焼却サレツナルヲ発見ス夜ハ支那暴民多衆ハ不ツシ一ノ路ヲ邦人商店四戸ニ投倒投石ヲ逞ラス被害ケシ
九月二十五日	九		多数		通行中ノ邦人暴徒ニ包圍襲撃暴行ヲ受ケタルモノ九件夜ハ前夜同様邦人商店ニ投石又ハ棒ヲ以テ出入口破壊ヲ企テタリ
九月二十六日	殺人六 重傷一 軽傷二 負傷八 暴行七	掠奪二 焚却二	放火一		白晝邦人商店ニ投石破壊又ハ通行中ノ邦人ヲ群集包圍暴行負傷者ヲ出ス湾仔方面ノ婦女子日本人小学校ニ避難夜ニ至リ九龍城市山下登友即一家ハ暴徒数一自治ノ未獲ヲ受ケ九八名殺傷セラレ掠奪ヲ壇ニス其他九龍方面ニ於テ邦人暴徒ノ多ク負傷入院スルモノ八名ヲ出ス九龍方面邦人ハ三井三菱社宅ニ避難ス
九月二十七日					英國軍隊出動暴民ヲ取締リタルタメ被害ナレ
九月二十八日					山下登友即一家六人ノ死体ヲ警察ヨリ日本人會受取火葬ニ付ス

S. 1.1.1.0 - 64

1353

132

0201

S. 1.1.1.0 - 64

1352

131

0200

排日ニ因ル生活困難者数
註 總計 一、六七七名

上海

時局發生以來上海ニ於ケル排日運動ハ日ニ激烈ヲ
極メ所謂日支經濟絶交ノ實行ニ伴ヒ個人営業者及
大中小工場ニシテ遂ニ閉鎖スルノ已ムナキニ至リシモ相
當多數ニ達ス而シテ個人営業者ノ閉業ニ依ル實
數ハ調査判明セサルニ工場経営者ニシテ遂ニ閉鎖
ノ已ムナキニ至リシモノ十月二十三日調査ニ依リハ實
六十工場ニ達シ邦人被僱工人ニシテ為メニ生活困難
ニ陥レルモノ在滬主ニ四〇人家族三九〇人合計六
三〇人ニ及フノ状態ニシテ尚ホ其ノ後ニ於ケル未調

査分ヲ合算スル時ハ約千名ヲ突破スル見込ナリ
殊ニ邦人工業中硝子製造全加工業廢法瓶製造
工業ハ昨年来非常ノ勢ヲ以テ工場ヲ増加シタルモノ
が時局ニ依リ完全ニ閉鎖シ今ヤ華人工場ノ独占ニ
歸シタリ

次ニ一般在留者ニシテ生活困難ニ陥リタルモノモ
相當多數ヲ算スルモノト推測サル、モ據ルマキ調
査資料ナキヲ以テ上海總領事館ニ對シ失業ノ為
メ生活困難ニ陥リ生活費ノ補助請願ヲ為シタル
モノノ數及其ノ處理状況ヲ示セバ次表ノ如シ

時局ノ為メ閉鎖セシ邦人工場調査表

0203

S. 1.1.1.0 - 64 1355 134

0202/33

S. 1.1.1.0 - 64 1354 133

工場名	営業別	閉鎖月日	日本人	支那人	計	生活困難者	世帯主	子供	計
工場	營業別	閉鎖月日	日本人	支那人	計	生活困難者	世帯主	子供	計
小林洋行	紙器製造	九月三十日	二	一四	一六	二	二	三	五
恒成紙行	紙器製造	十月七日	一	四	四	一	七	七	八
金生工廠	魔漢瓶製造	十月六日	一六	三一	四七	七	三四	三四	四一
金恭工廠	〃	九月中旬	〃	二〇	二〇	〃	〃	〃	〃
泰山橡皮公司	ゴム加工品	十月九日	一八	一六	一七八	八	二五	二五	三三
第一公司工廠	漆物業	十月十日	五	三五	四〇	五	六	六	一一
南華印刷所	印刷業	十月十四日	二〇	一〇	一三〇	一〇	一八	一八	二八
保豐澱粉廠	澱粉製造	十月八日	二	二	四	〃	〃	〃	〃
瑞和毛巾公司	毛織業	十月十日	三	三三	三六	〃	〃	〃	〃
明華機械廠	機械業	十月二十日	八	三	一一	三	八	八	一一
公和製銅廠	銅工業	十月十六日	二六	一三	一五六	二六	四一	四一	六七
公和電工廠	電気工業	十月二十日	四	三五	三九	四	八	八	一二
公和製鉄廠	鉄工業	十月十五日	一六	八〇	九六	一六	一四	一四	三〇
佐藤洋行洋骨製造工場	洋傘製造	十月十五日	五	三〇	三五	四	六	六	一〇
鑄物工場	鑄物業	九月二十五日	五	四二	四七	五	〃	〃	五
黒越工場	印刷用インキ製造	十月一日	三	三	五	〃	〃	〃	〃
瑞寶皂廠	石鹼製造	九月二十五日	一七	二〇	三七	〃	〃	〃	〃
彩華公司	印刷業	九月二十五日	一	〃	一	〃	七	七	八
上海澱粉製造所	澱粉製造	十月十日	二	一〇	一二	二	二	二	四
克己洋行	製棉業	九月二十五日	一	二	三	〃	〃	〃	〃
松源號	陶器製造	十月二日	四	五	九	〃	〃	〃	〃
尾形號	〃	十月五日	二	五	七	〃	〃	〃	〃

S. 1.1.1.0 - 64 1357 0205 136

S. 1.1.1.0 - 64 1356 135

0204

染色工場	染色工場	美芳工廠	第二寶成廠	義豊珪瑯廠	三上洋行	ミシン針製造	昭進洋行	印花廠	大革製帽廠	榮發玻璃廠	工場名	合成玻璃廠	寶山第二廠	寶生玻璃廠	小川印刷所	大一洋傘廠	開進社	公大印花廠	三和洋行	天明電氣公司	尾形號	双福廠	大矢洋行
ノ	染物業	ノ	硝子加工品	珪瑯製造	電氣器具 附屬品製造	ノ	硝子細工 加工業	捺染業	製帽業	硝子製造 加工品	営業別	ノ	ノ	硝子製造 加工品	印刷業	洋傘製造	印刷業	捺染業	製棉業	電機器具業	ノ	陶器業	製棉業
ノ	九月二十四日	十月七日	十月十五日	九月十九日	十月五日	十月一日	十月二日	九月二十四日	十月三日	十月一日	閉鎖目日	十月六日	十月九日	九月二十九日	十月十日	十月八日	十月五日	十月二十日	十月五日	十月二十日	十月三日	十月四日	十月五日
二	二	二四	二	一	一	一	一	九	二	二	日本人	二	一	三	一	六	三	六	一	一	三	四	二
一九	七	九〇	七〇	八	五	六	五	三六	二七	二八	支那人	五〇	七〇	一〇〇	三	三四	五〇	六	一	一五	三五	六	五
三二	九	一四	七二	八	五	七	六	四八	三六	三〇	計	五二	八二	一一三	四	三〇	五三	一一	一	一六	三八	一〇	七
二	二	一六	二	一	一	一	一	九	二	二	世帯主	二	一	三	一	三	六	一	二	二	一	一	一
四	五	一三	二	一	一	三	三	八	三	三	子供	二	一五	四	一	六	一	一	一	五	一	一	一
六	七	二九	四	一	一	四	四	一八	一一	五	計	四	二七	七	一	九	六	一	一	七	一	一	一

S. 1.1.1.0 -64

1359

138

0207

S. 1.1.1.0 -64

1358

137

0206

137

60

工場名	工場場所	経営者名	使用人	日本人使用人数	世帯主	生活困難に陥る者
〃第三三工場	〃	〃	日本人	計	計	計
上海紡績第一	楊樹浦路	楊樹浦路	四七	一七七一	一八一八	九九
豊田紡績	マズイルド	豊田利三郎	一四九	五八六	六〇九	一三二
同興紡績	〃	立川團三	二八	一七〇	一七二八	三四
内外棉工場	戈登路	取締役 大西喜一	四五	一四〇〇	一四四五	四五〇
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
合計工場数	六工場	〃	三五二	一四九六	一八四九	二四〇

事業継続中ノ紡績工場調(租界内十月二十三日現在)

工場名	営業別	閉鎖日	使用人	日本人	支那人	計	世帯主	生活困難に陥る者
中華皮革廠	製革業	十月三日	一	一	一	一	一	二
福興公廠	鉄工業	九月三日	四	五	五	四	六	一
合計工場数	六工場	〃	三五二	一四九六	一八四九	二四〇	三九〇	六三〇

工場名	営業別	閉鎖日	使用人	日本人	支那人	計	世帯主	生活困難に陥る者
中華金屬製造廠	金屬加工品	十月十五日	二	一	一	二	一	三
松尾彈花廠	層棉加工品	九月二十日	一	四	四	一	一	二
人和公司	魔法瓶製造	十月五日	一	三	四	一	一	二
公大橡皮廠	ゴム工業	十月九日	五	一一五	一二〇	五	一四	一九
大昌	硝子加工品	十月二十日	九	八二	九一	九	七	一六
新昌	〃	十月十日	二	五	七	二	五	七
昭和洋行	花火製造	十月初旬	二	五	七	二	五	七
好萊社工業部	織物業	九月三十日	五	三〇	三五	五	七	一
中川製革廠	製革業	十月日	一	三	三	一	一	一
松岡工場	鉄工業	〃	五	二〇	二五	一	一	一
佐野洋行	洋傘製造	十月二十四日	一	七〇	八〇	二	三	五
全	製造業	九月二十五日	一〇	一〇	二〇	二	二	四

S. 1.1.1.0 - 64 1361 0209 140

S. 1.1.1.0 - 64 1360 139 (0208

ソース製造	鉄材圧縮	製氷工場	石鹼工場	メリヤス	棉紗製造	捺染業	蚊取線香	紙器製造	鉄工場	印刷工場	工場ノ種類	工場数	五二	工場使用人	日本人 三五五人 全家族 六一二人 支那人 二〇七六人
一	一	一	一	一	一	一	一	四	七	一八	醬油製造	一			
	其	皮革工場	電氣加工	陶器製造	製粉工場	量器製造	菓子製造	瓦器製造	ワナギ罐詰						
	一	一	一	一	一	一	二	一	一						
	四														

S. 1.1.1.0 - 64 1363 0211
142

61
如シ

右ノ外紡績工場以外ノ諸工場ニシテ十月二十三日現在ニ依ル事業繼續中ノモノニ付其ノ概数ヲ記スレバ左ノ

合 計	大康紡績	東華紡績	裕豊紡績	同興訪第二工場	〃 第二工場	公大紗廠第五工場	〃 第五工場	〃 第四工場
工場数十三	楊樹浦路	華徳路	〃	〃	楊樹浦路	平涼路	〃	〃
	菊地恭三	横尾孝彦	阿部房太郎	立川團三	〃	倉地四郎	〃	〃
一四二六	七二	四四	八九	四七	九三	一三五	六四	四四
五二五九	四四六	一九九	三五五	二二六	二六二	二八〇	二〇二	三六五
五三〇七	四五八	二〇三六	三六四八	二二六三	二六九五	二九三五	二〇六	四二六
一三七三	六七	四七	八六	五二	一〇六	一三三	四六	四〇
一四六九	一〇一	四六	一〇〇	五〇	一二五	一三四	五八	五〇
二八四二	一六八	九三	一八六	一〇七	三三一	二五六	一〇四	九〇

S. 1.1.1.0 - 64 1362 0210
141 41

62

計	内地人	内台人別		摘要
		戸数	人口	
一 二 九	一 一 九	一 〇	一 四	
四 八 一	四 六 七			

福州
排日ニ依ル生活困難者数

厦門

排日ニ依ル生活困難者数
在留邦人及台湾籍民中ニテ本人ノ急隋其ノ他事
情ニ因リ常時生活困難ヲ感じ居ルモノアルニ排日
ノ為ニ直接生活困難ヲ来タシタル者ナシ

種別	世帯主	家十才以上	族十才以下	生活費		補助		自給的請取消シタル数	勸告ニ依リ旅費ヲ給與シタル数
				補助請願数	可ナル数	補助必要ヲ認メタル数	自給的請取消シタル数		
生活費	五〇四	三八一	二九一	一〇、一〇〇	七四四	五、三三〇	一八〇	一九五	三八〇
補助	三九五	一三七	二一三		三七九	一四		一三	二六
自給的請取消	七九	二二九	七一				六	八	二
勸告ニ依リ旅費ヲ給與	三	五						五	二
旅費ヲ給與	二	二							二

註 台湾人ニシテ生活費補助申請願ヲ出シタルモノニ
謝昌、鄭進來ノ二名アルモ目下実状調査中ニ
シテ本表處理外ニ屬ス

自十月二十九日
至十二月五日
時局失業者生活補助請願處理調

0213

S. 1.1.1.0 - 64

1365

144

0212

S. 1.1.1.0 - 64

1364

143

143

(三) 廣東

排日ニ因ル生活困難者数

户数八戸 男九名 女二名 計二〇名

備考右ハ資産ナク又收入衣食ニ足ラサル者ノミ
ヲ計上ス之等ハ主トシテ支那街居住者ニ
シテ目下租界へ避難中ノ者トス

(九) 排日ニ因ル避難引揚邦人数

註 總計 七六九名

(イ) 上海

時局ノ為メ上海ヲ避難シタル者ノ数ノミヲ調査ス
ルコトハ至難トスル所ニシテ其ノ實数ハ知ル能ハザ

ルモ排日運動ノ悪化ニ伴ヒ宜昌、長沙、漢口、安慶、
撫湖、九江、南京、鎮江等ノ長江沿岸各地ノ在留
邦人及杭州、蘇州ノ在留者ニシテ一度上海ニ避難シ
更ニ時局ノ見極メ附カハルト經濟關係等ニテ當
地ヨリ離滬シタル者相當数ニ達スルモ之レトテ外
國船ニ依リ帰國シタル者等モアリ確数ヲ知ルコト
不可能ナルガ今時局發生ノ九月十九日ヨリ十月
十五日ニ至ル約二ヶ月間ニ上海出帆ノ日本船ニ依
リ離滬シタル男女数船名未滬人負其ノ出入ノ
差ヲ調査スルニ次ノ如シ

自昭和六年九月十九日 邦人出入者数
至今 年十月十五日

S. I. I. I. O - 64

1367 0215
146

S. I. I. I. O - 64

1366 145

0214

右表ノ示ス如ク時局發生以來約二ヶ月間ノ邦人來
 離者數ヲ比較スルニ離港者四八六名多ク其ノ内
 實際ノ避難者ハ約三百名内外ナルベク長江各
 沿岸地ヨリ當地ニ避難セル者モ其ノ大部分ハ友
 人知己ヲ頼リテ滯港中ノ者多ク而カモ公共租
 界ヲ有シ各國駐屯軍ノ保護下ニ在ル上海ヨリ

差引離港者四八六多シ

船名 區別	未離港者		計數	離港人		計數	出入ノ差	
	男	女		男	女		増	減
上海丸	五五〇	二三九	七八九	四二八	二九七	七二五	七四	
長崎丸	一六九	一三八	二九七	四六一	二九六	七五七		四六〇
筑波丸	三	一	四	二	九	三〇		二六
大甲丸	二		二					二
三笠丸	二	三	五	二	二	五		二
生駒丸	一八	三	二一	一	一	二		二
摩耶丸	五	四	九	三	一七	四八		三
阿蘇丸	四		四	一	三	四		
笠置丸	四		四	一	二	四		三
伊豫丸	一		一	一		一		
鹿島丸	四		四	三		三		
計	八七六	三九七	一二三三	一〇三三	六八七	一七〇九	一〇八	五九四

S. 1.1.1.0 - 64 1369 0217 148

S. 1.1.1.0 - 64 1368 147 0216

特ニ避難スルモノハ老人若クハ一部ノ特殊關係アル者ノミニシテ排日ニ依ル危険行為等ハ相當續發シ居ルモ避難ノ程度ニ達セサルヲ以テ在住人口約ニ万六千ニ對スル避難者數ハ右ノ如ク極メテ小數ニ屬ス

更ニ上海總領事館ニ於テ調査シタル避難者數ヲ示セバ別表ノ如シ

但シ本表ハ十二月五日現在在調査ニ屬ス

時局ノ為メ引揚者其他調査表 (十二月五日現在)

65

區別	男女子供別		計	摘要
	男	女		
事件發生以來當地ヲ引揚者	二二八	一二二	三五五	
郊外居住者ニシテ一時安全地帶(租界内)ニ避難シタルモノ	六	三	九	支那街江灣廟北方面居住者
			一一二	

上海以外ノ他地ヨリ引揚者	五	一	一四	三一	上海以外ノ土地ハ吳淞温州ヲ指ス
自宅殘留者	二四		三	二七	日華紡績吳淞工場負
長江上流各地ヨリノ避來者	一一	一九	二六	六六	重慶萬縣宜昌漢口九江南京等
領事館負避來者	五	三	二	五	

右第一項ノ當地引揚者ヲ更ニ區分スレバ左ノ如シ

自費 一〇七
 給與 一〇六
 送還 九七(内温州ヨリノ避難者ニ治ヲ含ム)

福州
 避難引揚者數

S. 1.1.1.0 - 64. 1371 0219. 150

S. 1.1.1.0 - 64. 1370 149 0218

計	十月十日	十月十日	十月十日	十月十日	十月十日	十月十日	十月十日	引揚月日		引揚月日
								業別	別	
五〇	一	一	一	一	一	一	一	男	内地人	仲介業
四	一	一	一	一	一	一	一	女	内地人	仲介業
二	一	一	一	一	一	一	一	男	台湾人	仲介業
二	一	一	一	一	一	一	一	女	台湾人	仲介業

引揚事由

最近仲介不振、中国人ノ建物工事ニ
 事監督シテ雇ハレシ中時局ノ多ク解雇
 三車前ヨリ引揚計車中ノ外市区改正依
 リ立退ヲ必要トシ家主ヨリ立退料二千
 五百円提供アリ折柄時局急変告
 ザルニ愈々引揚ガニ改シタルモノナリ
 漳州ニテ紙卸商経営中ノ処商況不振
 ニ付引揚準備中時局ノ多ク其引
 揚ガ早カラシメタルモノナリ
 泉州ニテ中国人経営ノ民生漁業公司ニ雇ハ
 レ中時局ノ多ク解雇サレ引揚ケタルモノナリ
 泉州ニテ中国人経営ノ南魚業公司
 ニ雇ハレ中時局ノ多ク解雇サレ
 引揚ケタルモノナリ
 旅行者ニシテ一時滞在中モナリ
 同ノ内縁関係アリテ同道引揚ケタルモノナリ
 内地人男五名 女四名
 台湾籍氏男二名 女二名

以厦門 避難引揚者数男女別

計	十月十日	十月十日	十月十日	十月十日	十月十日	引揚月日		引揚月日
						業別	別	
針工	右使用人	香水製造	男	内地人	香水製造計中ニ時局急変シタル多 之ヲ見合ハセ引揚ケタルモノナリ 前項ノ理由ニ依リ主人ト同伴引揚 ケタルモノナリ 中国人経営ノ針工場ニ雇ハレ居タル 時局急変ニ依リ解雇セラレタルモノナリ			
四	二	一	男	内地人				
			女	内地人				
			男	台湾人				
			女	台湾人				

引揚事由

計	台湾人	内地人	内地人別		計	摘要
			大人	小人		
一八	一七	一	大人	男	二九	
一〇	二	八	大人	女	二七	
一六	六	一〇	小人	男	五六	
一	二	一	小人	女		

台湾人中ニハ眞ニ避難シタルモノト
 認メ難キモノアルニシテ
 シタルモノハ之ヲ引揚
 上ニシテ

S. 1.1.1.0 - 64 152 1373 0221

S. 1.1.1.0 - 64 1372 151 0220

廣東 避難引揚者数

支那街ヨリ波面ニ避難引揚セルモノ	日本へ引揚ゲタル者		戸家族数		十二才以下		計
	男	女	男	女	男	女	
一八戸	三六	三六	二	二	八	八	一四九
三二	四二	四二	二	二	二	二	六七
計	六八	六八	四	四	一〇	一〇	二一六

三、南支那在留邦人ノ概況

- (一) 在留民数男女別(昭和五年及六年別)
- (二) 上海在留邦人男女別人口統計ヲ示ス左ノ如シ

昭和五年十二月三十一日現在男女別人口表

種別/性別	内地人		朝鮮人		台湾人		計
	男	女	男	女	男	女	
内地人	一三二一〇	一〇九一九	二四一二九	二四一二九	一三〇二	一一〇	二五三四六
朝鮮人	六七七	二二八	九〇五	九〇五	三〇二	一一〇	二五三四六
台湾人	三〇二	一一〇	三一一	三一一	一四一八九	一一三五七	二五三四六
計	一四一八九	一一三五七	二五三四六	二五三四六	一四一八九	一一三五七	二五三四六

註 右ノ内寧波温州在住者二〇人ヲ含ム

昭和六年ニ於ケル在留邦人男女別人口統計表ハ總領事館ニ於テハ九月末統計調査後未ダ作成シ居ラザルヲ以テ九月末調査ヲ左ニ記載ス

S. 1.1.1.0 - 64 154 1375 (0223

S. 1.1.1.0 - 64 1374 153 0222

計總	名 灣 人					地 内 人					内 別 名 別
	人 口	戸 数	口 人		戸 数	計	口 人		戸 数	昭 和 五 年	
			計	女			計	女			
一五〇四	四七九	二一三六	四八六	六五〇	三四五	三六八	二一七	一五一	一三七	昭和五年	
一五七四	四四四	二二二一	五一九	七〇二	二四七	三五三	二〇八	一四五	九七	昭和六年	
										摘	
										要	

註 昭和六年分ハ内各人共十一月末現在ニ依ル

男ノ数ニ比シテ女ノ数多キハ福清縣下ノ支那人ト同棲スル婦人ノ多キニヨル

S. 1.1.1.0 - 64 156 1377 0225

福州
在留民数 男女別 (昭和五年及六年分)

即チ六年九月末在留邦人總人口ハ二万六千五百十七人ナリ

計	溫 州	寧 波	上 海	地 名	
				男	女
五五〇	四		五四九	六	內
一三五四	一〇		一三五四	四	男
二四九五	二		二四九三	九	女
二五〇九	一二		二四九七	九	計
八三三	一〇		八三三	五	大 人
三三七	二		三三七	五	小 人
三三七			三三七	二	男
七九三			七九三	二	女
三三四			三三四	六	計
六一〇		三	九八	三	男
三六一		三	一四	三	女
一四一			一四	九	計
二六五	一二	三	二六五	二	計

S. 1.1.1.0 - 64 1376 155 0224

計	汕頭	地名		計	計	計	計	計
		内地	朝鮮人					
八九	八九	男	女	八三	一七二	一	一	一
八三	八三	男	女	一七二	一	二二七	一一〇	三四七
一七二	一七二	男	女	一	二二七	一	一一〇	三四七
一	一	男	女	一	二二七	一	一一〇	三四七
一	一	男	女	一	二二七	一	一一〇	三四七
一	一	男	女	一	二二七	一	一一〇	三四七
一	一	男	女	一	二二七	一	一一〇	三四七
一	一	男	女	一	二二七	一	一一〇	三四七
一	一	男	女	一	二二七	一	一一〇	三四七

(ホ) 汕頭

計	朝鮮人	台湾籍民		内地人		籍別		昭和五年	昭和六年	摘要
		男	女	男	女	男	女			
二七三	三〇	四九	九四	二二	二五	二五	二五	二五	二五	
二二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	
二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	
二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	
二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	
二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	
二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	
二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	

廣東
在留民数男女別
昭和五年及全六年分
(在廣東日本領事館管内區内)

增	昭和六年	昭和五年	年別	總數	男	女
四九八	七八五〇	七三五二		四三三八	二九九四	一三八一
三一七	四六七五	四三五八		三九一七	二九一七	一八一

臺灣籍民

增	昭和六年	昭和五年	年別	總數	男	女
二二	三七四	三五二		一七六	一七六	一七六
一〇	一八六	一七六		一八八	一八八	一八八

廈門
在留民数男女別
昭和五年及全六年分
内地人

S. I. I. I. O - 64 158 1379 0227

S. I. I. I. O - 64 1378 157 0226

職業別	人口		職業別	人口	
	男	女		男	女
其他ノ商業	一八五	四	宗教関係者	四七	四
工場労働者	二八〇	五	教育関係者	九八	二八
貿易商(店員)	一五一	一	新聞雜誌記者	九	一
官公吏雇傭	三九七	二	旅館料理貸席	一〇	五〇
學生練習生	四一六	三五六	被服身理品製造	二五	六一
藝妓娼妓酌婦甚		五五〇	理髮結髮者	二九	二九
物品販賣業	六七六	五一	家事被傭人	一五三	三六四
會社銀行商	四三二	一四三	醫務ノ関スル業	一三三	一五五
職員事務員	四三二	一四三		九八	二一八
本業者	男	女	本業者	男	女
家族	男	女	家族	男	女
職業別 <td colspan="2">人口</td> <td>職業別 <td colspan="2">人口</td> </td>	人口		職業別 <td colspan="2">人口</td>	人口	
船舶従業者	九一	七	化學工業	七	一
媒介周旋業	八六	五八	洗張染色洗濯業	四九	五
水竹製品製造	七一	四二	紙工業	一一	一
大工左官石工ペンキ	六一	二二	皮革骨角羽毛製品製造	八	二
土木建築業者	六一	四〇	食料品嗜好品製造	四	四
製版印刷製本	四一	三七	其他ノ工業	三〇	一八
學藝娯樂装飾品製造	一〇五	九	農耕園藝畜産	七	四
金融保險業者	一七	一八	同労働者	五	一
金属工業者	一四	一三	漁業製塩労働者	四	三
纖維工業者	一八	二二	空業	三二	一八
機械器具製造	二七	二	車場業運轉手	三九	一七
本業者	男	女	本業者	男	女
家族	男	女	家族	男	女

(2) 在留邦人職業別人口表
 (昭和六年一月現在)
 (1) 上海在留邦人職業別人口表

160 0229
 S. 1.1.1.0 - 64 1381

159 0228
 S. 1.1.1.0 - 64 1380

71

總計	内地人計		台灣人計		朝鮮人計	
	女	男	女	男	女	男
	一、一四〇	一、三六六	一、一四二	一、三九四	二、三九	二、三八六
	合計 二、三九〇		合計 四、二六		合計 九、三三	

寫真彫刻音楽家	法務関係業	陸海軍人	運搬夫仲仕	郵便電信電話業	運輸取扱業者
六七	五	一〇	四八	五	三八
				二	
三五	三	三	八	三	三五
七七	九	一〇	四三	九	六六
無職業者	在監受刑者	官公又は慈善団体の救助を受けた者	其他ノ労働者	其他ノ有業者	其他自由業者
三三四	一三	七	四五	一九八	八九
三二七	三			二六〇	二〇
一二三			五	七九	三四
二一六			一三	一四六	八四

230-1

S. 1.1.1.0-64 161 1382 0230

72

註 無職中ノ大部分ハ各有識業者ノ家族ナリ

製油業	活動俳優	漢藥研究家	紙箱製造業	魚商	船員	新聞雜誌記者	翻譯業	辯護士	中國官公吏	石炭又製氷業
一	三	一	二	一	一	一	三	二	三	一
菓子又果實商	貸金業	写真印刷業	蓄音機商	安草商	帽子商	職工(製糖製蒜)	家事使用人	學生	無職	總計
四	三	三	一	一	二	五	八	六	四	三
一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一
四	三	三	一	一	二	六	八	八	五	五

163

S. 1.1.1.0 - 64 1384 0232

職業別	教員	材木商	雜貨商	活動写真	貸地業	地賣買同業	銀行員	會社員	海產物商	画家
男	六	二	一	二	四	二	一	一	三	一
女	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	七	二	二	三	五	三	二	二	四	二
職業別	フィルム製作業	泰器商	貿易商	通譯	藥種商	出版業	醫師(齒科医)	米穀商	航運業	仲買業
男	二	一	一	四	五	二	一	五	七	二
女	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	三	二	二	五	六	三	二	六	八	三

上海在留臺灣人職業別人口表

162

S. 1.1.1.0 - 64 1383 0231

84

備考 此、外、福清縣下在住婦人五六名	計	其他	新聞雜誌記者	齒科醫師	藥劑師	醫師	教員	天理教布教師	官公雇吏員	船舶業	旅館料理屋業	會社銀行員	貿易業	物品販賣	飲食物製造	機械製造	職業別	業主	從業者	家族	擯	要
	八九	一〇	二	二	一	五	七	一	二	一	四	二七	一	五	二	一						
	三八					事務員 看護婦 一六				一	二		二	二								
	一七〇	一	一	二	一	一七	一五	二	三五	三	七	四三	四	二	三	三	二					

福州
福州在留内地人職業別及其從業者數

S. 1.1.1.0 - 64 165 1386 0234

164
S. 1.1.1.0 - 64 1385 0233

74

計	其他	新聞記者	醫業	教員	僧侶	官吏	運輸業	船舶從業者	自動車運轉手	海產物其他	會社銀行員	金融保險	貿易商	物品販賣	工場勞働者	裝飾品製造	大工	裁縫	飲食物製造	農夫	職業別	
三六八	一一一	一	七	六	九	七	二	二	一	三五	二	六	一一	九五	一七	一	二	二	四	一九	戶主	
七三	一五		六							一四		二	五					二	六		從業者	
七八〇	二五三	一	三七	一七	二	四二	五	七	四	六七	一	一	二九	二三九	三	四	六	二	六	三五	家族	
																					摘	
																						要

福州在留台灣職業別及其從業者數

S. 1.1.1.0 - 64 167 1388

0236

S. 1.1.1.0 - 64 166 1387 0235

75

職 業 別	本業者	備考	職 業 別	本業者	備考
機械類製造	一		官公吏雇傭員	二七	
洗濯業	一		宗教關係者	一	
木工業者	一		教育關係者	八	
飲食料品嗜好品造	一		醫務關係者	二二	
大工職	一		物品販賣	一二	
製版印刷製本	一		貿易商	五	
其他ノ商業	三		會社銀行店員	二四	
船舶從業員	一		藝妓酌婦	五	
無職及職業不申告	三		其他有業者	三	
旅宿料理屋業	三		家事被傭人	一二	
新聞通信關係者	一				
其他自由業者	三				
合計				一三七	

ハ 厦 門
 在留民各職業者職業別及其從業者數
 厦門在留内地人職業別從業者數

S. 1.1.1.0 - 64 169 1390

0238

S. 1.1.1.0 - 64 168 1389

0237

76

看板製造業	車製造業	機械商	貸家業	冰糖製造業	醬油商	土地賣買業	鐵工業	炭輪商	製腦業	酒商	醫生醫師業	菓子商	古物商	金銀細工業	為替及錢莊業	金貸業	藥種商	糖商	煙草商	海產物商	雜貨商	職業別	本業別數備考	職業別	本業別數備考
一	一	一	一	一	二	二	四	二	三	二	四	一七	七	五	一〇	一七	一八	五	四	五	二一三				
電池製造業	電氣器具業	骨董商	化粧品製造業	鳥肉商	獸肉商	寫真業	材木商	印刷及印刷業	鞣商	茶商	陶磁器類商	齒科醫	果物商	紙商	金物商	魚商	貸地業	雜貨行商	米穀商	吳服商	貿易商				
一	一	二	一	二	一	三	三	三	三	九	一	一八	一〇	五	六	九	二七	四	一二	一七	五六				

四厦門在留臺灣人職業別從業者數

S. 1.1.1.0 - 64 171 1392 0240

170 0239 S. 1.1.1.0 - 64 1391

77

計	土木建築請負業	洋傘製造修繕	豆商	線香商	自轉車商	酒製造業	理髮職	指物職	ペンキ職	女工	籐細工職	支那料理店	旅館及客棧	船舶業	漁業	被備人	事務員及店員	官吏	産婆	漁具商	漬物商	鏡製造業
	一	一	一	一	二	二	五	三	一	七	四	八	八	五	八	四	一	六	五	一	一	一
	石材商	講談師	飲食物行商	玩具商	便利屋	石炭商	密銭商	石炭商	遊藝稼業	農業	飲食店	料理店	船員	仕立商	薪炭商	會社員	新聞記者	教員	米粉製造業	印刷工	大工職	竹細工職
九一九	一	一	一	一	一	一	五	一	二	一	九	八	四	六	一	二	八	四	一	三	二	三

S. 1.1.1.0 - 64 173 1394 0242

S. 1.1.1.0 - 64 1393 172

0241 172

計	支那官吏	支那新聞記者	支那國民黨部員	支那軍人	教支那學校員	職業不明	學生	職業別業者	從業者
三七	一	一	一	八	三	二	一〇		

(イ) 在留朝鮮人職業者別及其從業者數

合計	醫院助手	醫師	インキ製造	利子生活(無職)	學生	看護婦	職業別業者	從業者	職業別業者	從業者
	二	二	一	二	二七	三				
	製圖師	支那學校員	請負師	支那官吏	齒科細工	被傭人				
五一	一	一	一	六	一	二				
三					一					

(ロ) 在留台灣籍民職業者別及其從業者數

S. 1.1.1.0 - 64 1398 177 0246

S. 1.1.1.0 - 64 1397 176 0245 176

種別	昭和五年		昭和六年		備考
	支那人労働者	内地人	支那人労働者	内地人	
支那人労働者	九、七三七		一、二二〇	六	
全非労働者	六、四〇四		七、三三二		
本島人	七、八四二		八、九〇〇		
外國人	一、九五五		一、一一一		
内地人	一、三七六		一、二三〇		
計	二五、五五四		三八、七七九		

台湾ヨリ南支那各地へ歸還又ハ渡航者調

種別	昭和五年		昭和六年		備考
	支那人労働者	内地人	支那人労働者	内地人	
支那人労働者	一、二、三九二		八、四二七		
全非労働者	七、八三五		六、四四一		
本島人	七、五五九		八、三六五		
外國人	一、五五三		一、五五二		本欄示数、支那人を除き、 乳、欧米、其他、各口人ナリ
内地人	一、五八二		一、六四六		
計	二九、五二一		二五、〇三一		

(3) 臺灣及支那間來往者状況
台湾ヨリ南支那各地ヨリ本島へ渡來上陸者調

S. 1.1.1.0 - 64 1400 0248
179

S. 1.1.1.0 - 64 1399
178 0247 178

四、南支在留台湾籍民ニ及ボセル排日影響

(一) 概説

南支在留台湾籍民ノ大多数ハ無職者又ハ尙片業者ニシテ實質上独立シテ實業ニ従事シ居ルモノ極メテ寡クタリ而シテ生業ニ従事シ居ル者トシテ表面台湾籍民タルコトヲ表明セズ平常支那人トシテ土着支那人ト伍シ生者ヲ管ミツ、アリ一面支那人間ニ台湾籍民タルコト判明シ居ル者ナリト虽モ吾等ハ中國民ト種族ヲ同フミ只清朝時代ニ一時日本ニ割讓セラレタルモノナレバ中國ハ吾等ノ祖國ナリト稱シ歎ラシ通シ他面日本人ナリトシテ若外法權ヲ主張スル等

在留台湾籍民ハ常ニ灰色的態度ヲ持シツ、アリテ今次ノ排日ニ際シテモ内地人ノ如ク排斥マラル、コトナク平然トシテ生計ヲ管ミツ、アリ殊ニ台湾籍民阿片業者ノ如キハ排日運動猛烈ナルタメ巡警、兵士ノ配置密トナリ中國人経営ノ煙館ニテハ禁煙委員會、公安局巡警又ハ軍隊等ノ臨檢ヲ受クルノ危険ノ度高マリタルタメ尙片吸食者ハ若外法權ヲ有スル台湾籍民ノ経営ノ煙館ニ出入スルモノ増加シ及ツテ若氣ヲ呈スル現況ニアリ故ニ今次ノ排日ニ依リ特ニ受ケタル具体的影響ニ付キ特記スヘキ事實ニ之レク多少ノ影響ヲ受ケツ、アリト虽モ在留内地人ニ比較シテ極メテ輕微ナリ

S. 1.1.1.0 - 64

181 1402

0250

S. 1.1.1.0 - 64

1401

180

0249

以下各地方別。其ノ影響ヲ余説スレバ左ノ如シ

(一) 排日運動ノ在留台湾籍民ニ及ボシタル影響(各地方別)

上海

上海ニ於ケル台湾籍民ハ約五百名ニ達スルモ独立シテ中國人ノ間ニ在シ實業ニ從事シ居ルモノハ寥々十指ヲ屈スルニ足ラザル状態ニシテ(別記職業別調査表ノ職業ハ領事館ノ推定ニ依リ作製シタルモノ)事實上獨立生活ヲ営ミ居ルモノハ醫師(齒科醫ヲ含ム)十名及ビ支那商人トシテ貿易ニ從事シ居ル裕孚洋行其ノ他ニ三ノ商人ニ過ギザル状態ニアリ然モ彼等ハ全然台湾人タルコトヲ表示セズ中國人トシテ營業シ居ル關係上排日運動ニ因リ何等ノ影響ヲ受クルコトナシ

トナシ

台湾人開業醫ニシテ常ニ邦字新聞等ニ廣告ヲ掲載シ公然日本ノ醫學技出身タルコトヲ現ハシ居ルモノハ今回ノ排日ニ依リ中國人患者ノ来診ヲ断チタルメ相當ノ打撃ヲ受ケタルモノニアル如キモ多クハ國民政府ニ登録シ居ルヲ以テ特ニ排日ニ因ル影響ヲ聞カス唯々中和醫院主廖煥章ガ内地人ヲ妻トシ日本醫學博士タルノ故ヲ以テ漢字新聞、申報、新聞報ヨリ廣告ノ掲載ヲ拒絶サレタル事實アルモ右ハ台湾人醫師張秋朝(莫安醫院)ガ該新聞社ニ廖煥章ハ日本人ナリト投書シタルニ因ルモノナルベシ

S. 1.1.1.0 - 64 1404 - 0252 183

S. 1.1.1.0 - 64 1403 0251/82 182

在留籍民ノ三分ノ一ハ留學生ニシテ其ノ他ノ在留籍民ニ至リテハ多クハ一定ノ職業ヲ有セズ諸所ヲ徘徊シ居ルモノ又ハ内地人若クハ中國人ノ店員等ニ住込ニ居ルモノニシテ排日ニ因ル影響ニ就テハ具體的ニ特記スベキ事實ナレ

四) 福州

福州ハ在留籍民數約千二百ヲ算スルニ其ノ大部分ハ阿片業者及ヒ無職者ニシテ排日ニ因ル影響目録正業者ニ及ボセル影響トシテハ反日會員ノタメバナナ三三四元、昆布一口元、計三四四元ノ被害ヲ蒙レルト生業ヲ失ヒ又ハ管業不能者三七戸一四六名ナリ而シテ

労働者、使用人其ノ他ニシテ排日ニ因ル生活困難者一八九戸四六七名ヲ生シタルノ外特筆スベキ具體的影響ナシ

以) 厦門

厦門ハ在留台湾籍民約七千八百有餘名ニ達シ南支各地中籍民ノ最ニ多数ヲ占ムル地ニシテ台湾人ノ勢力最ニ熾ニナル地タリ隨テ排日ニ因ル影響他ノ各地ニ比較シテ反映スル所不尠而シテ在留台湾籍民ハ平常ニ在リテハ籍民タルガ故ニ諸種ノ税金其他ノ負担金ヲ免ル、特矣ヲ有スルガ支那人ハ之ヲ利用シ台湾人ニ其名義ト僅少ノ資本ヲ提供

S. 1.1.1.0 - 64

185

1406

0254

S. 1.1.1.0 - 64

1405

184

0253

的經濟絶交ノ根底ヲ有スル為メ日貨抵制ノ方法
 進歩シ之ガ徹底ヲ期シ從來ノ如ク日人又ハ日籍
 民ニ暴行脅迫等ヲ敢行スル者皆無ト為リ罵詈
 嘲笑スルガ如キ者モ殆ニト影ヲ著メタルモ其ノ反面
 日貨ノ新輸入ハ勿論日貨ヲ所持スルコトヲ許サバ
 ルタメ在庫滞貨ノ移動サヘ極メテ困難ヲ感ジ日
 貨専門ノ商人ハ相當打撃ヲ蒙リ居レリト虽モ
 多クノ日貨商店ハ支那人ト公司組織其ノ他諸種
 ノ複雑ナル形態ヲ備フル者多ク大多數ハ支那人
 ノ資本ニ依ルモノナルト今尚ホ必需品ハ日貨ニ非ズト
 シテ多少宛流通シツ、アルトニ依リ之等日貨籍民
 商人ノ受ケタル影響ハ日本内地人ノ如ク深刻ナラス

S. I. I. I. O - 64

187

1408

0256

セシメ洋行ノ看板ヲ掲ゲテ商業ヲ営ミ台湾人ハ
 望シテ其ノ利ヲ貪リ或ハ名外法権ノ陰ニ隠シテ賭
 場阿片窟ヲ設ケ巨利ヲ貪リ現在尚ホ此ノ種不
 正業者二百余戸之ニ依リテ衣食スル者二千余
 人ニ達ス

又從來排日時ニ在リテハ言語習慣等ノ共通スル
 特種地位ニ在ルヲ奇貨トシ支那商人ニ代ワドシク
 日貨ノ輸入ヲ為シ暗夜其ノ他ノ機會ヲ利用シテ
 出賃商人ニ交付シ一行行李幾何ノ手数料ヲ望シ(高
 率)テ巨利ヲ博シ却ツテ排日ニ依ル損害高以上ニ利
 益ヲ貪リタル前例不尠モ今次ノ排日ハ從來ノ排日
 下其ノ趣ヲ異ニシ中國官民一致シタル統制ト徹底

S. I. I. I. O - 64

1407 - 0255

186

186

從ツテ當分引揚ヲ要スルガ如キモノナシ
 目下最モ深刻ナル影響ヲ受ケツ、アル籍民独力
 ノ店舗ヲ擧ゲシ左ノ如シ（前記ニノ如シニ記載セル三
 七三戸ノ内最モ被害ノ大ナルモノ）

左記

屋	業	態	在	貨	備	考
同興洋行	綿布商		二十萬元		支那人ニシテ神戸ニ帰化シタル日本籍民ナリ自稱六十五萬元事案ハ二十万見當	
海南洋行	大阪商船買弁フロロカ				大阪商船ノ買弁ナルガ故ニ注意ヲ惹キ被害甚クシ	
東西藥房	藥種セメント				半ハフロロカニシテ今尚ホ多少ノ取引ヲ繼續ス	
黃成源	機械、製氷		三萬元		機械外金物一切ヲモ取賣ス被害大	
義泉洋行	玩具、雜貨		二萬元		玩具類ハ凡テ日本品ナルガ故ニ被害大	
永東洋行	金物類		二萬元			
泰豐堂藥房	藥種		三萬元			
廣生堂藥房	藥種		二萬元			
明山洋行	電気器具		一萬元			
奇	九戸		三十三萬元			

（一）廣東

廣東ハ在留台灣籍民ノ數極メテ少ク約八八名ニ過ギズ彼等ハ平素ヨリ日本人又ハ台灣籍民ナルコトヲ絶對ニ表明セズ支那人トシテ生活シ居レリ隨テ今次ノ排日運動ニ因リ何等影響ヲ蒙ルコトナレ

S. 1.1.1.0 - 64 189 1410

0258

S. 1.1.1.0 - 64 1409 188 0257